

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策I-2-1  
売れる農林水産品・加工品づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 福岡 直 電話番号 6858

事務事業の名称	島根型6次産業推進事業		
目的	(1) 対象	県内の市町村、農林漁業者、民間事業者、団体等	
	(2) 意図	島根県の豊富な地域資源を活用し、1次産業から3次産業の多様な事業者が連携して取り組む6次産業を支援し、市町村を中心とした、広がりのある6次産業の展開等を促進することで、事業者の所得向上や地域の雇用拡大を図る。	
事業概要	○島根型6次産業推進事業補助金（新しまろく事業補助金） ①事業者連携型 ソフト1/2以内 3,000千円、ハード1/3以内 7,000千円 ②市町村戦略型 ソフト2/3以内 5,000千円、ハード1/2以内 10,000千円 【事業要件】・事業実施主体を含む多様な3者以上の連携（県内1次生産者との連携は必須） ・雇用創出につながるビジネスモデルの取り組み ・市町村、商工会議所、商工会、県地方機関等の支援機関等との連携 ・市町村戦略型は、市町村戦略に基づく喫緊の課題に対する地域での取り組み		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	多様な事業者が連携した6次産業化に取組む事業体数	目標値	(23.0)	35.0	70.0	105.0	139.0	件
	式・定義	国事業実施事業体数15：ソフト事業体数5（ハード事業の半数）、ハード事業体数10（H27～H31：各2） 事業実施事業体数140：ソフト、ハード事業体H27：20、H28～H31：各30 合計155事業体増	取組目標値						
			実績値	(16.0)	27.0				
			達成率	69.6	77.2	—	—	—	%
2	指標名	多様な事業者が連携した6次産業化の取組みによる新規雇用者数	目標値	(16.0)	21.0	42.0	63.0	84.0	人
	式・定義	国ハード事業事業体数（H27～H31：各2）において各雇用3名増 県ハード事業事業体数（H27：10、H28～H31：各15）において各雇用1名増 合計100名増	取組目標値						
			実績値	(13.0)	53.0				
			達成率	81.3	252.4	—	—	—	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	80,362	90,000
うち一般財源 (千円)	80,362	90,000

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○島根型6次産業推進事業  
 (H28年度) 市町村戦略型 採択市町村数 8 採択プロジェクト数 11  
 事業者連携型 採択数 14  
 (H29年度) 市町村戦略型 採択市町村数 8 採択プロジェクト数 11  
 事業者連携型 採択数 11  
 ○アドバイザー派遣実績(H28) 42事業者 94回  
 ○6次産業化・産地地消法に基づく総合化事業計画 H28年度2件 → A-FIVE（ファンド）を活用した施設整備を実施。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

1. 市町村戦略型を設けたことにより、10の市町村が市町村戦略を策定し、戦略に基づく6次産業化の支援に取り組み、広がりのある6次産業化の展開を推進した。  
 また、6次産業化支援についての市町村からの相談も増え、6次産業化を推進する市町村の気運が高まった。

2. 新商品開発、新販路等が生まれつつあり、新たな雇用も生まれた。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」  
 ○農林水産業者（1次事業者）が自ら加工、販売まで取り組む6次産業化に取り組むのは難しい。  
 ○食品製造業者（2次事業者）は、地元の資源を生かした商品開発を進めたいが、うまく1次事業者と連携することができない。  
 ○多様な連携による6次産業化をどのように取り組んでいかわからない。  
 ○6次産業化に取り組んだものの、販売額が伸び悩んでいる事業者がある。  
 ○国の総合化事業計画の策定に取り組みにくい。

②困っている状態が発生している「原因」  
 ○経営が小規模で、新たに6次産業化に取り組む経営力がない。  
 ○農林水産業者（1次業者）では6次産業化に取り組む人材が少ない。  
 ○専門家のアドバイス、1、2、3次をつなぐコーディネートを必要としている。  
 ○マーケットインの視点での6次産業化の取り組みになっていない。  
 ○国補助事業の縛りが厳しくなっていることや十分な予算確保ができていないことから、計画策定意欲が高まらない。

③原因を解消するための「課題」  
 ○6次産業化に向けた機運の醸成と掘り起こしが必要。  
 ○6次産業化に取り組む人材の育成が必要。  
 ○専門的知識のあるアドバイザーによる支援が必要。  
 ○6次産業化へのビジネス展開を支援する体制が必要。  
 ○ビジネスとして立ち立ちするためのフォローアップが必要。  
 ○国の総合化事業計画の策定に取り組む事業者の育成が必要。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○6次産業化に取り組んだ事例を紹介する機会を設け、事業趣旨の理解の徹底と掘り起こしを進める。  
 ○事業の遂行にあたり、支援機関との連携の強化、効果的なアドバイザーの派遣などによりサポート体制を整え、フォローアップを強化する。  
 ○1次事業者への利益還元が進むようなビジネス展開となる6次産業化を育成していくよう、事業の募集、審査に留意し、事業採択後もフォローアップしていく。  
 ○国に対し、機会を通じて要件緩和、予算確保について要望していくとともに、幅広く推進可能な事業・制度の洗い出しと、周知・活用促進を図るコーディネートを進めていく。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合の未記載)

事務事業の名称	島根型6次産業推進事業
---------	-------------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	多様な事業者が連携した6次産業化の取組みによる1事業者あたりの新商品開発数	目標値		3.0	3.0	3.0	3.0	アイテム
			取組目標値						
	式・定義	1事業者あたり新商品増加数H26実績:H26しまろく事業実施者による新商品開発実績(63)÷H26事業者数(21)=3	実績値	2.5	2.6				%
			達成率	-	86.7	-	-	-	
4	指標名	多様な事業者が連携した6次産業化の取組みによる1事業者あたりの新販路増加数	目標値		1.6	1.6	1.6	1.6	件
			取組目標値						
	式・定義	1事業者あたり新販路増加数H26実績:H26しまろく事業実施者による新販路増加実績(33)÷H26事業者数(21)=1.6	実績値	2.9	3.1				%
			達成率	-	193.8	-	-	-	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	